

第2回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会

日時：令和6年6月6日（木）
午後6時～7時30分
会場：下諏訪町役場 講堂

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 新構成員紹介

4 会議事項

(1) 第1回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ

(2) 校地検討会議について

(3) 学校・学びの紹介

(4) 学びのイメージに係る意見交換

5 その他

次回の予定

【日時】 令和6年7月下旬から8月（予定） 午後6時～7時30分

【場所】 未定

【内容】 未定

6 閉 会

岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会構成員名簿

(敬称略)

区分	氏名	所属等	役職等	グループ
自治体	藤澤 正	岡谷市	副市長	A
	後藤 慎二	諏訪市	副市長	B
	宮坂 享	岡谷市教育委員会	教育長	C
	三輪 晋一	諏訪市教育委員会	教育長	D
	松崎 泉	下諏訪町教育委員会	教育長	E
産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所	副会頭	E
	白鳥 和美	諏訪商工会議所	副会頭	C
学識経験者	◎市川 純章	公立諏訪東京理科大学	地域連携総合センター長	座長
地域	窪田 美彦	セイコーエプソン株式会社 人的資本・健康経営本部	本社総務部長	E
	高林 千幸	岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	館長	B
	竹花 顕宏	諏訪地域振興局	局長	D
同窓会	小松 壮	(一社) 岡谷工業高等学校同窓会	理事長	B
	増澤 義治	諏訪実業高等学校同窓会	会長	A
P T A	佐藤 亨	岡谷工業高等学校 P T A	P T A 会長	D
	芳澤 秀樹	諏訪実業高等学校 P T A	P T A 会長	C
	笠原 康弘	岡谷市 P T A 連合会 代表	会長	E
	竹野入将宏	諏訪市 P T A 連合会 代表	会長	欠
小中学校等 関係者	櫻井 洋	諏訪小学校長会 代表	長地小学校長	欠
	河手 正彦	諏訪中学校長会 代表	諏訪中学校長	C
	高坂慎太郎	諏訪養護学校	教頭	A
再編対象校	武田 怜也	岡谷工業高等学校	生徒会長	A
	牛丸 瑤介	岡谷工業高等学校	生徒会副会長	D
	弓削 俊宏	岡谷工業高等学校	校長	B
	清水 哲	岡谷工業高等学校	教職員	C
	小林 愛友	諏訪実業高等学校	商業科代表	B
	盛 咲穂	諏訪実業高等学校	服飾科代表	E
	加藤 泰久	諏訪実業高等学校	校長	A
	小池 聡	諏訪実業高等学校	教職員	D

【事務局】

学校名	氏名 (役職等)
岡谷工業高等学校	(教頭) 飯島健二
	(教諭) 御子柴 久雄、原 克明、山口 隆、飯島 昭雄
諏訪実業高等学校	(教頭) 植 和弘 (教頭)、(定時制教頭) 三間 美奈子
	(教諭) 服田 洋介、小池 聡、小川 淳子、

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会	井出 敦	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	宮嶋 直美	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	山崎 巖	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事

第1回 岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和6年1月29日(月) 午後6時～7時30分		
場所	下諏訪町役場 4階 講堂		
出席 (敬称略)	小口道生、宮坂 享、後藤慎二、三輪晋一、松崎 泉、木下敏彦、白鳥和美、市川純章、窪田美彦、高林千幸、宮原 渉、小松 壮、増澤義治、宮島竜仙、大西百合香、林 賢司、櫻井 洋、根橋ほなみ、傳田浩章、武田怜也、牛丸瑤介、清水 哲、森下 淳、太田 優、盛 咲穂、加藤泰久、川村俊介(以上27名)		
欠席 (敬称略)	柳澤 修(以上1名)	傍聴	11名、報道2社、オンライン4名
事務局	岡谷工業高校	飯島教頭、御子柴教諭、小野教諭、小林教諭、宮下教諭	
	諏訪実業高校	橋本教頭、久保田定時制教頭、山田教諭、山本教諭、川村教諭	
	県教育委員会	宮澤高校再編推進室長、中島主幹指導主事、有坂主任指導主事、井出主任指導主事	
当日資料	次第、構成員名簿、席図、会場案内、開催要綱、今後のスケジュール(案)、パワーポイント資料		

会議事項

- (1) 座長選出 ◎市川純章構成員を座長に選出
- (2) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」(県教委より説明)
 - ① 「実施方針について」
 - ② 「再編・整備計画【三次】」
 - ③ 岡谷諏訪総合技術新校(仮称)の学校像(例)
- (3) 質疑応答及び意見交換

構成員から出された主な質問・意見(要旨) (→県教委回答)

- ・新校で深い学びができればよい。工業科、商業科、服飾科が融合した「諏実タウン」の発展を期待している。
- ・再編後、各校の専門機材等をどちらかの校舎に移動するのか、そのまま異なる場所で使うのか。
- 総合技術高校は一か所にまとめたい。専門性担保に必要な資機材は、工業・商業それぞれにあるため、移転し新しい環境で学べるよう整備していく。校地については、新校をどんな学びができる学校にするか議論する中で、その学びにふさわしい場所を考えたい。
- ・高校時代は友達と夢を語り合い実現していく時期。時には悩み、それを乗り越える勇気や経験が人生を形成していく。複雑化・多様化する時代であるが、一人ひとりの生徒が誇りを持てる学校にしてもらいたい。
- ・旧7区の地域協議会では「地域社会や地域産業の新たな価値を生み出す産業人を育成」という意見が産業界から多く出た。諏訪の産業を担う若者を育てられる高校教育を実現してほしい。また、中学生からは「魅力的な高校が欲しい」「可能性を伸ばしてほしい」という意見があった。これからの議論は、今の高校に通っている生徒たち、新校に通うであろう子どもたちの声を聞いて進めて欲しい。
- ・近隣の私立高校に負けない魅力ある学校をつくって欲しい。就職率向上、高専化、大学進学強化、建築・自動車整備・スポーツの学び、技術専門校との連携や部活動を特色とした環境づくりなどの検討を願う。
- ・一番大切なのは生徒達が魅力を感じて入学すること。生徒がやりたいことを実現できる学校にしたい。
- ・時代は親が高校進学や就職について干渉する形から子どもの自主性を尊重する形に変化。子どもがどのような学校を目指したいと思うかが大事。
- ・大学進学と同時に、高校で専門技術を学んで就職することを特徴とした学校をつくってほしい。
- ・「デジタルを学ぶ」とは、伝えたいことを効率的に表現し共感を得る能力を身に付けるという考え方がある。SNSの登録者やフォロワー数が多いことは一つの特徴。イノベーションを起こすには思いつきや特技を持つことが大切。どんな仕事も人との協力は大切で、一人では新しいものが生まれにくいこともある。手先を使う工業の学びは製品のイノベーションを創造する。高校での様々な学びが会社の仕事に繋がっている。
- ・地元の大学としては、高校での学びをより深めたいという目的をもった生徒が進学してくれるよう願う。

その他

【次回】

日時：令和6年5月下旬～6月頃 午後6時～7時30分
 会場：未定
 内容：各校の学校・学びの紹介、意見交換

岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会 校地検討会議について（案）

1 校地検討会議の目的

県教委が、岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会における意見交換を受けて校地を決定するにあたり、岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会に専門会議（校地検討会議）を設置して事前に意見交換することによって、岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会の意見交換を円滑に進めることを目的とする。

2 運営について

- (1)会議には部会長を置く。
- (2)会議は原則として非公開とする。
- (3)開催は懇話会と同一日を基本とする。
- (4)会議の内容については、随時懇話会で報告する。

3 構成員

		氏名	所属等	役職等
1	自治体	宮坂 享	岡谷市教育委員会	教育長
2		三輪 晋一	諏訪市教育委員会	教育長
3		松崎 泉	下諏訪町教育委員会	教育長
4	産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所	副会頭
5		白鳥 和美	諏訪商工会議所	副会頭
6	学識 経験者	市川 純章	公立諏訪東京理科大学	教授・地域連携総合センター長
7	同窓会	小松 壮	(一社) 岡谷工業高等学校同窓会	理事長
8		増澤 義治	諏訪実業高等学校同窓会	会長
9	学校 関係者	弓削 俊宏	岡谷工業高等学校	校長
10		加藤 泰久	諏訪実業高等学校	校長

地域振興局長は発言権のないオブザーバーとして会議に参加できる

第2回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会 グループワークのテーマについて

テーマ

学校・学びの紹介の発表を聞いて 両校の学びについて理解を深める

- それぞれの高校の良いところ
- 両校が一緒になることによってどのように変わっていくことを期待するか

グループワーク

話しやすい雰囲気づくりのための 4つのお願い

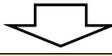
- 「自分の発言は3割、傾聴を7割の割合で」
- 「相手の話は途中でさえぎらない」
- 「今後の議論につながる建設的な意見をだしあう」
- 「他の人の意見を否定しない」

* ルールを大切にしながら 生徒目線で積極的なご意見をお願いします

MEMO

「岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会」のスケジュール（案）

高校再編推進室

年度	月・日	懇話会	内 容
令和5年度	1月29日 (月)	第1回懇話会	○「県教委より説明」 実施方針、再編・整備計画【三次】の説明
令和6年度 (2024年度)	6月6日(木)	第2回懇話会	○目指す学校像 ・両校生徒による学校・学びの紹介、発表 (現在の各校の取り組み、新校への期待など)
	1・2か月に1回開催 (予定)	第3回懇話会以降 進捗状況に応じて開催	○目指す学校像 予定 ・先進校の事例、アドバイザーによる講演会など ・グループディスカッション <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <意見交換項目> ○学校像、新校の学び ○設置課程 ○活用する校地・校舎 ○募集開始年度 ○募集学級数 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 教育委員会定例会で「再編実施基本計画」を決定 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 統合事件案を県議会で同意 </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f0ff; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 新校準備委員会を中心に 校名、学校運営、地域協働、進路、生徒会、校歌・校章など細部にわたり検討 ⇒ 懇話会で意見交換 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #4a90e2; color: white; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 新 校 開 校 </div>